

2008年度 役員紹介

責務を果たして明るいあしたに！ — 2008年度会長に就任して—

東京弁護士会会長 山本 剛嗣

陽春の候、会員の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

会長就任にあたりまして、ご挨拶申し上げます。

私は、法科大学院あるいは市民との会合における参加者の発言を通じ、弁護士・弁護士会に対する期待の大きさを改めて感じております。本年度の日弁連会長選挙では法曹人口問題が脚光を浴びましたが、法曹人口は、日本の司法をどのようにしてゆくのか、法曹教育の状況や社会のニーズとの関係も視野に入れて検討されるべきものと考えています。私は、将来の弁護士は、自治権をもち、ときには権力と対峙して、人権と社会正義を守る市民の頼りがいのある尊敬される存在としてあり続けることを目指すべきものと考えています。

このような観点からは、就職難によりオン・ザ・ジョブ・トレーニングが困難となる状況や2回試験の不合格者の増加など質の確保の面で、現状は見直す必要があると考えています。2007年度は弁護士会の努力の結果、就職できない新規登録弁護士は少数にとどまりました。本年度も、新規登録弁護士の就職を支える同様の努力を継続する必要がありますが、先輩の指導を受けられない状況で開業する弁護士に対しては、個別に指導を担当する先輩弁護士を紹介するいわゆるチューター制度を発足させる必要があると考えています。ご協力をお願いします。

2008年度の最重要課題は、1年後に迫った裁判員裁判と被疑者国選弁護の拡大に対する対応体制の確立です。特に東京弁護士会においては多摩支部に

おける対応が容易ではありません。東京弁護士会はまさに鼎の軽重を問われる問題として理事者と会員が一体となって取り組む必要があると考えています。ご協力を切にお願いします。多くの会員に協力をお願いするうえでも、国選弁護報酬の引き上げに全力で取り組みます。

弁護士会の取り組むべき課題は、刑事司法に関するもののほか日本司法支援センターに関する問題や憲法改正問題など多岐にわたりますが、会員と弁護士会の情報伝達についても改善が必要と考えています。弁護士会は会員に多くの情報を伝達する必要がありますし、会員の意見を聴く必要があります。また弁護士会は、弁護士会の活動について市民の理解を得るためにも活動内容を市民に知らせる必要があります。本年10月にはこれまで準備されてきたOA刷新による第1段階の成果が実施されます。ホームページやメールの利用の必要性が増します。本年度はホームページの利用による情報の伝達を拡大したいと考えています。皆様も関心を持ってください。

東京弁護士会にとって多摩支部に関する問題は、その姿勢を問われる重要課題です。本年度は多摩支部会館問題など多摩支部の会員の要望と第一東京弁護士会あるいは第二東京弁護士会との利害が密接に関係する問題が表面化することが多いと予想されます。多摩地域に住む市民の利益を最も重視して課題に取り組みたいと考えています。

会員の皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

2008年度の役員に
誌上インタビューを行ないました。
1年間よろしくお願いいたします。

質
問

1. 一番関心のあることは何ですか？
2. 一番大切にしていることは何ですか？
3. 長所・短所、趣味は何ですか？
4. 弁護士になって感動したこと・つらかったことは？

誠実に、楽しく

会長 山本 剛嗣 (24期)



1. 法曹人口に関する状況の変化です。弁護士会の会員が、マスコミが、市民がどのような態度を示すか、そのなかで、日弁連の現執行部はどうするのか。これ以上の気がかりはありません。
2. 自分の健康。家族や友人との付き合いや仕事も大事ですが、すべてが健康にかかわるので。
3. 長所は、まじめなことで、他人に対する気配りができることで、できないことはできないと

開き直れること。短所は、いろいろなことを考えすぎること。気配りができることの負の面。

趣味はゴルフ。今年は封印ですが、バイク（ハーレイ、ロードキング）のツーリング。北海道のツーリングは最高。

4. クレサラ事件解決後しばらくして、特産のネギを送ってもらったとき（感謝されていることを実感して）、つらかったことは、勝つと思って取り組んだ訴訟に負けて依頼者と会うとき。

継続は力なり

副会長 森田 太三 (34期)



1. 司法の役割が社会の中でもっと大きな比重を占めることです。「法が社会の隅々を照らし、弱者が泣き寝入りしない社会」の実現が目標です。
2. 仕事では情熱とチームワーク。家庭では家族との時間を大切にしたいですね。
3. 山陰出身のせいでしょうか、意外と我慢強いですよ。割とおっちょこちょいなのは短所でしょうか。趣味と言えるほどではないですが、

休みには詩を読んだり、下手な歌を作ったり。
4. 横田基地騒音公害訴訟と中国人戦後補償裁判にそれぞれ10年ほど取り組んできました。僅か数%の勝訴の光を頼りに始まった裁判や運動が「継続は力なり」で成果をあげています。こうした体験は感動の連続です。つらかったことは、自分の努力が依頼者に理解されなかったことですね。これはつらい。

初心を忘れない

副会長 関本 隆史 (35期)

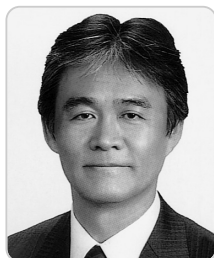


1. 弁護士の大量増員時代の到来と弁護士及び東京弁護士会の将来。
2. 自分自身、家族の心身の健康。
3. 長所：物事を悪く考えず、よく考えること。
短所：物事をよく考えすぎることではないかと思っています。
趣味は、読書・音楽鑑賞であり、また運動不足・ストレスの解消の目的からゴルフ（下手ですが…）をやるようにしています。家族円満のためなるべく家族と一緒に旅行に出掛けようようにしています。
4. 刑事事件では、当番弁護士で派遣された窃

盗被疑事件で、被疑者に何度も接見に行き励まし続けた結果、最終的には処分保留で釈放された事件、殺人未遂被告事件の弁護で傷害致死の執行猶予判決を得た事件などで依頼者に大変感謝されたことが思い出として残っています。私の事務所は殆どが民事事件ですが、やはり思い通りの主張・立証が出来て事件を解決できた時には、弁護士としての満足感を覚えます。反対につらかったことは、自身の能力不足・不勉強故に依頼者の事件の解決に何ら力をかすことが出来なかったときです。

明日を想う

副会長 太田 治夫 (37期)



1. 弁護士・弁護士会の明日。弁護士業務はどのように変容していくか。市民は必要とする弁護士に辿り着くようになるか。
2. 苦しいとき、辛いときこそそのユーモア
3. 他人の言うことを良く聞き、協調性を重んじるのが長所ですが、その分優柔不断で決断力に乏しいのが欠点。
趣味は月1回のフットサル（60才までは続

けたい）。

4. 事件解決によって依頼者が精神的にも解放されていく姿と、不在がちなのに長年にわたって見捨てないでいてくれる顧客の皆さんには、じんわりと感動を覚えます。
笹のような精神構造ゆえ、つらいことは蓄積されずに生きてきました。

たゆまぬ努力を

副会長 津村 政男 (37期)



1. 刑事弁護関係を担当する立場から、いかにして2009年の裁判員裁判制度や本格的被疑者国選弁護制度への対応体制を確立するかです。
2. 他人との調和
3. 長所：人付き合いの良いこと
短所：人付き合いの良すぎる（特にお酒が入ったとき）
趣味：かつては真夏や真冬でも喜んでゴルフ

フをしていましたが、いまはどこか冷めてしまいました。カラオケが趣味というのも恥ずかしいし。

4. 結果いかにかわらず、依頼者が地道な弁護活動を高く評価してくれたときは弁護士としての感動を覚えます。
つらかったこと、ある程度悩むとすぐ忘れるタイプなので覚えていません。

市民と会員のために

副会長 秋田 徹 (38期)



1. 弁護士大増員時代の市民との交流や情報交換、弁護士大増員時代の会員への支援体制
2. 健全なるべき身体と脳の健康維持
3. 長所：真面目に人の話を聞くこと
短所：不器用にして短気
趣味：かつて版画と篆刻でしたが、現在は無趣味の状態です。

4. ある刑事事件で、一審有罪、二審無罪、上告審差し戻し、再二審有罪、上告棄却という経過をたどって確定したのですが、弁護人の活動が無罪に結実したことに感動し、棄却に困惑しました。それでも、依頼者の信頼をえることができ、その信頼の重要性を認識しました。

地道に 確実に

副会長 金子 正志 (38期)



1. 市民から信頼される弁護士会、会員にとって存在価値の高い弁護士会となるためにはどうしたらよいか。
2. 人の気持ち。迷ったときは、「原則」に戻って考える。
3. 長所：気配り、打たれ強い、頑張り屋
短所：多少、自虐的に言うならば、細かい・粘着質
趣味：車を運転すること、旅行、美味しいものを食べること、作ること

4. 加害者の口から謝罪の言葉を聞くために刑務所に入った加害者に損害賠償請求訴訟を提起した際、裁判所が粘り強く刑務所と交渉し、本人尋問が実現したこと。その際、遺族が泣きながら加害者の謝罪を受け入れたこと。

自分の見通しとおりに事件が展開し、暴力団排除が完結したときに見た依頼者の笑顔。

地に足をつけて歩む

監事 芹澤 眞澄 (43 期)



1. 5,000 人を超える多数の会員をもつ東京弁護士会が、この社会で果たすべき役割は何か、現実にどんな役割が果たせるかを監事の仕事を通じて考えること。
2. ①家族、事務所のスタッフなど自分を支えてくれる人たちの健康で幸福な生活の実現。
②依頼者の立場に立った十分な弁護士業務の遂行。
③自分の心身の健康。
3. 長所：誠意をもって人や物事に対応すること。
短所：他者に対してときに厳しすぎる。

趣味：3 人の子供たち（中2、小5、小2）や家族との時間を有意義に大切に過ごすこと。

4. 感動したこと：依頼者の人生に深く関わった事件がよい解決をしたことで、一生つき合っていける人が何人もいること。採血に伴う医療過誤の事件で3年にわたり闘い、依頼者本人が自分の決断で和解することを決めた際、力になったことなど。

つらかったこと：一審で敗訴判決を受けた依頼者が、くやしいが控訴をしないでよいと電話をしてきたときなど。

一期一会

監事 鍛冶 良明 (44 期)



1. もちろんお金です。東京弁護士会のお金、依頼者のお金、そして我が家の家計。いろいろなお金のことを気にする1年になりそうです。わかりやすい情報開示をモットーに頑張ります。
2. 信頼に応えること。平素は、むっつり、のらくらと生きていますが、人から信頼されることにより生きる活力と指針が生まれます。
3. 責任感は強いほうです。他方、責任のある仕事が広範にわたると押しつぶされそうになるので、その範囲を限定しようとする消極さ

あります。

趣味はゴルフ、マージャンです。ただ、4人集まる機会がありません。あとはお酒ですが、こちらは年に数回程度しか休みません。

4. 監事をやらないかと声をかけていただいた時には、信頼された喜びに感動するとともに、私を役員に選んだ人の度胸に感動しました。つらかったことは、脅迫を受けたり、期日を失念したりといろいろです。

■2008年度 東弁常議員 (80人/50音順)

茜ヶ久保重仁	牛久保美香	小田島 章	佐久間 豊	鈴木 堯博	中城 重光	広沢 幹久	村木 政之	山田 勝彦
伊井 和彦	氏原 隆弘	河合 繁昭	佐々木友紀	鈴木 善和	中本源太郎	藤田 正人	元橋 一郎	吉川 愛
飯田 修	大井 暁	川村 理	佐藤 南平	須田 徹	永山 在浩	牧野 盛匡	森 裕子	吉田悌一郎
飯田 丘	大石 守史	北川 展子	佐藤 光子	仙石 隆	西川 久貴	松尾 慎祐	森田 憲右	吉田 秀康
池田 俊雄	大畑 雅義	北澤 香織	佐山 進一	竹下 洋史	西島 幸延	馬淵 泰至	山際 悟郎	吉村 誠
石岡 修	大森 顕	楠本 維大	篠原 靖征	富田 寛之	野間 自子	圓山 司	山口 貴士	和田ゆりか
石橋 尚子	大山美智子	小出 康夫	白崎 友子	長尾 詩子	橋爪 雄彦	三竿 径彦	山崎 健	和田 吉弘
伊礼竜之助	荻野 明一	小林 七郎	菅沼 聖也	中川 潤	濱谷 美穂	水落 一隆	山下 智行	渡邊 隆
岩崎 泰一	奥 国範	齋藤 一彦	鈴木 潤子	中久木邦宏	林 史雄	道本 周作	山下 紫	

■2008年度 日弁連代議員 (113人/50音順)

青木 耕一	氏原 隆弘	蒲野 宏之	佐々木有人	清野 英之	中嶋 重造	藤田 正人	元橋 一郎	吉川 愛
茜ヶ久保重仁	遠藤 憲一	河合 繁昭	佐々木友紀	仙石 隆	中城 重光	前田 茂	森 裕子	吉田悌一郎
秋田 徹	大井 暁	川村 理	笹浪 恒弘	高橋 利昌	仲野 裕美	牧野 盛匡	森田 憲右	吉田 秀康
伊井 和彦	大石 守史	北川 展子	佐藤 南平	武内 更一	中本源太郎	松尾 慎祐	森田 太三	吉村 誠
飯田 修	大畑 雅義	北澤 香織	佐藤 光子	竹下 洋史	西川 久貴	松坂 祐輔	矢野 史子	若宮 良一
飯田 丘	大森 顕	楠本 維大	佐山 進一	田代 宏樹	西島 幸延	馬淵 泰至	矢花 公平	和田ゆりか
池田 俊雄	大山美智子	黒岩 哲彦	篠原 靖征	田中 千草	野間 自子	圓山 司	山際 悟郎	和田 吉弘
石岡 修	荻野 明一	小出 康夫	白崎 友子	津村 政男	橋爪 進	三竿 径彦	山崎 健	渡瀬 耕
石田 千佳	奥 国範	小杉 公一	菅沼 聖也	富田 寛之	橋爪 雄彦	水落 一隆	山下 智行	渡邊 隆
石橋 尚子	小田島 章	小林 七郎	鈴木 潤子	長尾 詩子	浜口 臣邦	水野 賢一	山下 紫	
伊礼竜之助	甲斐 伸明	齋藤 一彦	鈴木 堯博	中川 潤	濱谷 美穂	道本 周作	山田 宣郷	
岩崎 泰一	貝塚 慶一	酒井 桃子	鈴木 康仁	中久木邦宏	林 史雄	向山 文俊	山田 勝彦	
牛久保美香	加藤 裕也	佐久間 豊	須田 徹	長坂 省	広沢 幹久	村木 政之	山花 宣夫	